

# ぐるっと GURUTTO

2014.08  
vol.09



## 色和衣

巻頭特集

irawai

ここに注目!!  
今回の読みどころ

町の風景はいつもと変わらないのに、その中に着物姿の人がたたくことでちょっと違った景色に見える。でもそれは決して不自然ではなく、町に溶け込んだ一つの風景となり凛とした空間を作り出す。着物の似合う町「古川」。今回は、日本一着物の似合う町をめざす「色和衣」取材してきました。



### 色和衣メンバリのつながりときっかけ。

10年余り前に、八ツ三館の池田理佳子さんが「タビエル」というホームページサイトで温泉宿の宿泊レポートを書いている丹羽尚彦さんの存在を知ったそうです。丹羽さんの撮る写真はどれも吸い込まれていきそうな純粋な写真が多く、とても感銘を受けたそう。そして、ぜひとも八ツ三館のホームページを作成してほしいという願いに添えてくれたことが、つながりのきっかけとなりました。その数年後、染めと呉服大洞の大洞優子さんが、商工会の支援の一つ「エ

キスパートバンク」を利用してホームページ作成指導をお願いした際の講師が、丹羽さんでした。こうして、もともと同級生だった池田さんと大洞さん、そしてホームページ作成を通じて知り合った丹羽さんの3人がつながる形となりました。そんな3人は、自然と共通な話題を持ち、話を重ねる中でこんな構想ができました。

### 夢を語りあう中で生まれたものが「色和衣」

「色和衣」とは、飛騨の小京都古川の町並みが着物や浴衣姿で賑わっている



### 着物を着るよう勧めたのは、同級生の池田さん。

やがて大人になり、池田さんは仕事の大部分に着物が関わるようになり仕事着として着るようになりました。一方、洋服姿がほとんどだった大洞さんは池田さんのある言葉で「せつかく素敵な着物を提供するお店をしてるんだから、自店の商品をどんどん着て『素敵でしょ?』って示さないよ。あのお店行くと素敵な着物があるよ!と、自ら歩いて宣伝しなくちゃ。」と背中を押してくれたそうです。こうして大洞さんも

仕事として着物を着るようになり、自然と普段着になっていったそうです。

### 「色和衣」は、今年で4年目。

最近では町の人から「色和衣で何かやるの?」と言葉をかけて頂けるようになったそう。始めた頃は町の人たちから「着物で何かするんだって?」という程度の意識だったのが、こうして「色和衣」と呼ばれるようになったのは有りがたいことに町に浸透してきた証拠でしょう。「いいことやってるね!」と声を掛けられたときは、ほんとうに励みになりました。

たら、きつとステキだろうな。用水路に沿って並ぶ古い町並みに浴衣姿で歩いてみたい!そう心に思い描き作り出した、日本一着物姿が似合う町を目指す草の根運動なんです。

スから引つ張り出してくるだけ。あとは、着物を着る機会・きっかけをつくってあげること。その部分が「色和衣」なんです。

### 一般公募から生まれたネーミングは造語。

「色和衣」ってネーミング、すっごく素敵でしょ?実は、Fogbookでネーミングを募集。「古川の町と着物のイメージ」をテーマに、多くの方が案をあげてくださったうちの一つなんだそうです。名付け親は、恥ずかしながら顔も名も知らない男性の方。誌面を利用して御礼を... (笑)。素敵な名前を付けていただき感謝です。と、お二人。

着物美人のお二人は、小さなころから着物や和に縁のあるご家庭で育ちました。そんな二人にとって、着物とはどんなイメージか尋ねてみました。

「祭りの時に着せてもらったことがすごく印象に残っています。あとは夏の花火や七夕のときに、兵児帯(きんぎょみたいな帯)を締めてもらい浴衣を着たかな。周りから「かわいい!」とちやほやしてもらえたのが、とてもうれしく心地よかったです。」(笑)「普段、着物を着ることがなかったから、晴れの衣装ってイメージがありました。」  
勝手な想像とは違い、ほんとうに普通の人たちと変りない子供時代だったようですね。

ことによって、町外からのお客様も呼び込めるきっかけとなるのでは、と期待を寄せています。

### 旅先で着物を着れる町、飛騨古川。

最近着付け教室のCMやチラシを多く見かけます。それは習いに行きたい人や実際に習いに行っている人がいる証拠。でもその人たちが着物を着る機会といえば、お稽古の時か着物仲間でお茶をする程度でなかなか機会がないはず...。だったら、そういう人たちに古川へ旅行に来てもらい、旅先で着物を着てもらおうというのはどうでしょう。古川に訪れてから着物に着替えるというスタンスで、着替える場所の提供や古川の町並みを背景に写真撮影のサービスも喜ばれるのではないのでしょうか。もちろん、手ぶらで行って着物レンタル&着付けができるサービスなど、現在は不定期で行われているものを常に提供できる体制を整えていかなければいけないでしょう。古川の町は、アミューズメント化した観光地と違って、もともと居住している町に観光客が訪れるため、町の人にとっては、普段の生活の中で自然な声掛けやおもてなしができる町だと思っています。古川の人はそのような人情をもっている人はかなりですよ。

Kimono project  
Hida-furukawa irowai

# 飛騨色和衣 古川

日本一着物姿が似合う町プロジェクト ~いろいろい~



た。と、大洞さん。町の人に評価してもらえたこと、それがさらなる活力となって新しいアイデアを生み出しているようです。

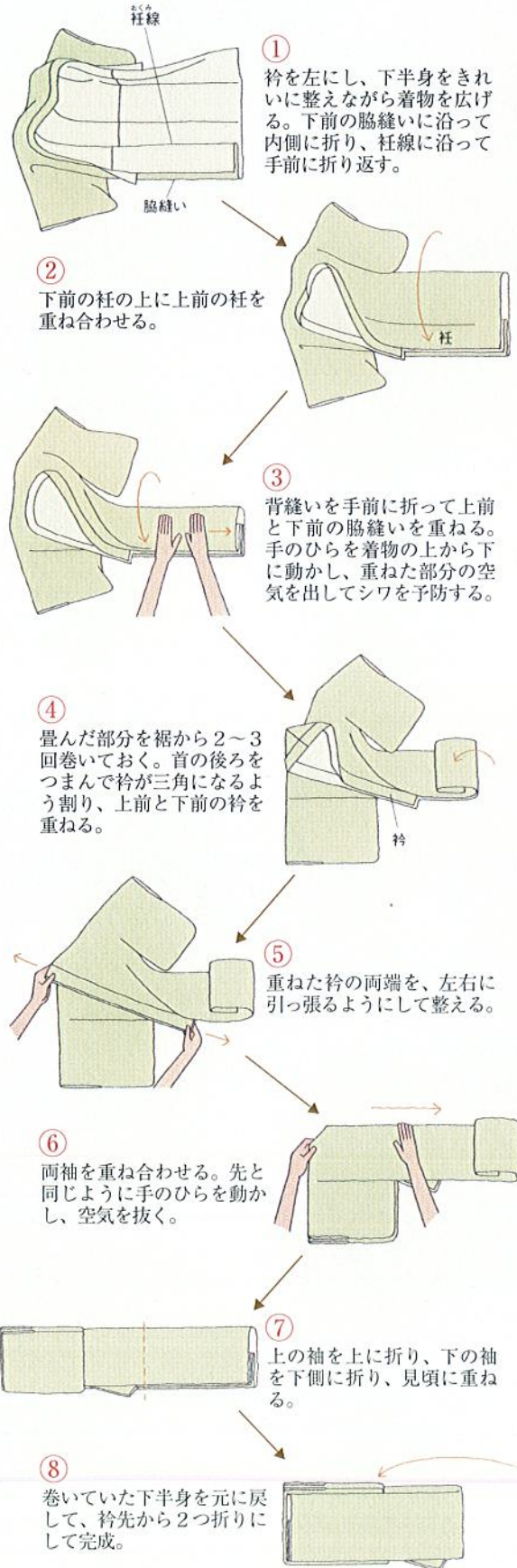
### 着物や浴衣を着て町に出かけてみよう。

現在、色和衣の活動として古川祭や三寺参り、きつね火まつりと夏のイベントなど四季を通じて「着物や浴衣を着てみよう」と呼びかけています。昔からある古川の文化や守り続けてきた行事を大切にしながら、町の人たちに着物や浴衣姿で参加してもらえたら。そして活動が広く知られる



# 着物のたたみ方

着物の基本的なたたみ方です。浴衣もこの方法でたたみます。(豪華な装飾の留袖や振袖以外)



# まちの人たちの声

●70代夫婦 (小売店)  
着物のイベント?いいことだと思うよ。浴衣なら着れるので着てお店に立とうかな。タンスに着物や浴衣がいっぱい眠っているから、そういうイベントで生かしてほしい。

●20代女性2人 (うち1人は色和衣参加者)  
着物を着る機会って本当にないので、色和衣のイベントはすごくいいことだと思う。日本人は民族衣装を一番着ない国だと何かに書いてあった。もっともと思った。子供のころは特別な日に着るものってイメージだったが、もっと普段から着れるようになればいいな。男の人なら甚平もおしゃれ。

●70歳女性 (飲食業)  
若いころは祭りや花火で着る機会があったが、いまは全然着ないですね。着る時といえば、親戚の結婚式か法事か...  
昔は親が子供に誂えてやったものだが、今はそんなこともそうない。最近習いに行っている人が周りにみえるけど、着る機会がないと忘れてしまえそう。(笑) 浴衣なら気軽に自分でも着れそうだし初心者でも袖を通してもらいやすいのでは。

●70代男性  
自分は着れないけど、着物を着てる人を見るのはわくわくする。写真を撮ってもらえば記念になるし嬉しいだろうな。

●10代女性 (大学生)  
着物って特別感がある。何かの大切な時に着る物ってイメージ。歩きづらいし、トイレに行きにくそう。だから毎日着たいとは思わない。大人っぽい落ち着いた柄とか素敵♥でも若い子しか着れないような大胆な柄もいいかも。作り帯もあるから自分でも着れるようになった。

●60代女性  
タンスにいっぱい着物があるから、そんな素敵なイベントがあるなら、いくらでも貸し出しますよ。以前、滋賀県黒壁スクエアへ行ったとき、たまたま一日みんなが着物を着るイベントをやっていた、とても目を引くものだった。観光客に印象づいたのは...商店街の人でも浴衣や甚平を着て店に立てばおもしろいと思う。それを見た観光客は、帰ってから口コミで広めてくれるでしょう。活性化につながることは、どんどんやってみようよ。

●50代男性  
民族衣装なのに着てる人いないなあ。浴衣ならとっかかりやすいでしょう。花火大会や祭りで着物姿を多く見かけるようになった。「色和衣」の効果あると思うよ。タンスの肥やしになっている着物をもっと地域の若い子にも着てもらえるようになるといい。子供の浴衣姿って見てもかわいいから、浴衣を着させて兵児帯締めてぜひ町へ出かけてほしいな。ママ会や保育園の集まりなどで、浴衣を勧めてみるとすんなりと入り込んでいけるかも。着物にとらわれず甚平もOKでしょ。門を広げて(笑)

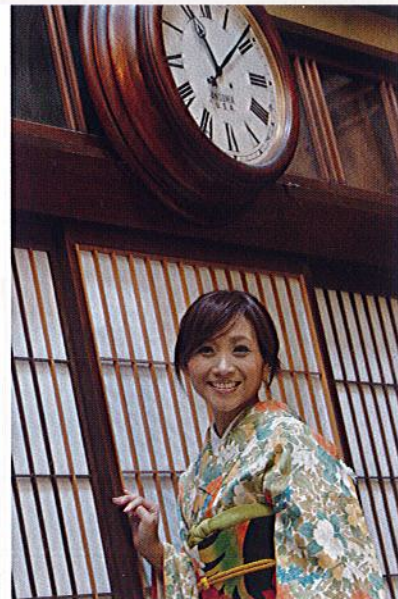
●40代女性 (まちゼミで着物を着せてもらった)  
普段着ることのない着物を着せてもらえ、それだけでわくわくだった。いつも大股で歩くのに、着物を着ている間はしっかりと歩いている自分がいた。(笑) せっかく着物を着たんだから誰かに見てほしい! 願望が出ますね。着ている自分が粋で素敵だと思えました。ぜひ、また着物を着たいです。



古川祭 2014 色和衣フォトコンテスト  
グランプリ「小粋な姐さん」 photo by.kazari



三寺参り 2014 色和衣フォトコンテスト  
グランプリ「楽しいお散歩」 photo by. マル



きつね火まつり 2012 色和衣フォトコンテスト  
グランプリ「時止メテ」 photo by.yokonyan45

8.7 次回の 色和衣 浴衣ファッションショー  
2014年8月7日 in 円光寺

この夏、色和衣は新しいチャレンジをする。キッズや一般の出演者による浴衣のファッションショーがある他、緑日や、浴衣の着付け&レンタル、バンド演奏や紙芝居なども。きつね火まつり、三寺参り、古川祭もチェック!

色和衣 検索 <http://irowai.jp/> facebook

悲しい結果や 厳しい現実もありました。  
以前、着物で町へ出掛けるとお店で お得なサービスや特典が受けられる企画を開催しました。しかし2年位で 辞めざるをえませんでした。賛同してくださるお店が少なく、せっかくなので体制を整えても、逆にお客様が来店されず待ちぼうけ。最後は 尻切れトンボな終わり方になってしま った状態...。何かを起すとは、 なかなか難しいことですが、町の人 たちや商店の人たちのちよつとずつ の協力がとても重要だと思えます。 例えば毎月決まった日には着物で過

ごしたり、着物を着て店頭に出てみ るとか。たまたまその日に来てくだ さった観光客やお客さまがビックリ するような町にしてみたいです。こ れはお金をかけず、今ある着物を着 ることのできる地域活性ではないで しょうか。「銀行に行ったら、窓 口の人も着物だったよ」とか「八百 屋さん行ったら着物着て店先にみえ たよ」など町の人たちが着物で仕事 をしていたら...。着物姿を見て回 るだけでも楽しそう。そして「着物 姿が見られる町」として話題となり 行ってみたいかな。着物を着てみた るかな。そんな思いになるような古 川の町を目指してみえます。

いつか実現したい夢。  
フォトコンテストも開催している色 和衣。将来的には、色和衣の写真集 を作りたいそうです。昨年、銀行等 の協力により街角ギャラリーを開催 し、多くの方に見て頂けました。町 の風景と素敵な着物が融合した写真 をもっと多くの人に見てほしいです。そして今、Facebookのつながりによっ て日本はもとより、イギリスなど世 界にも広まりつつあります。これか らますます目がはなせません。  
「着物で町を埋めつくしたい」  
そう願い日々奮闘してみえます。



池田理佳子さん:老舗旅 館ハツ三郎の若女将。宿 カフェやライブなどの催 し企画。  
大洞優子さん:染めと呉 服。大洞にて、着物や小物 などを販売。着物や浴衣 のレンタルや着付けも。  
丹羽尚彦さん:旅館専門 のウエブ制作が生業。古 川で出会った全員が着物 にまつわる人で、「こは 着物パラダイスか?」と 勘違い。さらにカメラ仲 間たちがネットにアップ していた古川の着物写真 に影響されたのが色和衣 のはじまり。



## 冷たいアルミに 飛騨匠の熱い魂を

ダイカストとは、精密な金型に溶かしたアルミを圧入して冷却短時間で複雑な形状のものを高精度に優れた鋳物として大量生産する方法です。高度経済成長期で産業が伸びている状況の中でダイカスト製造会社を設立して10年目「節目の年」ですと渡邊社長。製品の99%が自動車部品で2/3が海外へ輸出されています。製品アイテムが60〜70種類あり1日12,000台出る部品もあるとの事。製品の加工―

洗浄―乾燥までの工程を親会社である株式会社メカトロニクスで制作した機械で製造する。親会社の機械を子会社が取り入れることにより、コストダウンにつながると語っていただきました。「扱うのは冷たいアルミかもしれないが、飛騨匠の熱い職人魂を注ぎ込みたい」という社長の魂によって、リーマンショック・震災等何回かの危機を乗り越え現在があります。

### 株式会社 飛騨ダイカスト

代表取締役/渡邊 正憲  
☎0577-73-0025



古川町宮城町 491-1  
 営業 8:00 ~ 17:10 (月曜日~金曜日)  
 23:00 ~ 8:10 (日曜日~金曜日)  
 休業 日曜日・土曜日(変動) 休日カレンダー通り  
 アルミダイカスト部品の製造

## 今回の掲載事業所

自転車専門店 ナガクラ  
 湯峰ソーイング株式会社  
 株式会社 飛騨ダイカスト  
 キンコン館  
 リトルビレッジ Jr.  
 株式会社 丸茂  
 古川自動車钣金有限公司  
 株式会社 佐藤兵衛商事  
 山本おかずや  
 植賢  
 渡辺富士夫長生治療院

# “こだわり” からうまれる モノ&コト

地元「飛騨古川」には、ステキなお店や会社や企業がたくさんあります。でも、知らなければ利用することもできない。だから、もっと地元で暮らす人々に存在を知ってもらいたい。そこで、わたしたちが住んでいる街の魅力をほんの少しご紹介します。

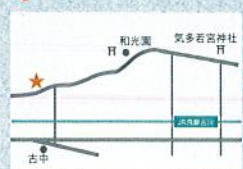
## 感じたら断行！ 背水の陣で前進あるのみ！

湯峰ソーイング(株)の事業展開はこの紙面では書き尽くせないドラマがあります。昭和50年、河合村で4人からスタート、その7年後に古川工場、5年後に全面新築、1年後に高山市に別会社設立、2年後中国南通市に日中合弁工場を設立、4年後ベトナムのホーチミンにライン借りて操業、同年岐阜事務所を開設2年後ベトナムの・・・さまざまな事情から現在は、飛騨市に本社、岐阜と東京に事務所、中国とベトナムにそれぞれ2つの工場を、従業員は全部で2,000人超の規模となっています。詳



### 湯峰ソーイング株式会社

代表/政井 道行  
☎0577-73-4217



古川町沼町 650-5  
 営業 9:00 ~ 17:00  
 メンズ、レディース、  
 カジュアル加工  
<http://www.yumine.com/>

しい沿革はホームページをご覧ください。しかし、凄まじい事業展開のルーツは、小学5年で母を中学1年で父を亡くされ経済的に非常に苦労をされました。県岐商3年生の時に無謀にも家出をして、月3,000円の下宿生活を選択。アルバイトで学費を稼いだり、卒業間近にお金がなくなり1,300円の学費が払えず滞納したままで卒業を迎えました。社長はまさに「こうだ！」と思ったことは断行し、しかも「背水の陣」に身を置いて「前進あるのみ」の状態で臨む姿勢にあると感じました。

## 「修理大好きなお店」は 「買って安心、買ってからも安心」

自転車専門店ナガクラの自転車は1台1台お店で組み立てていること、ご存知ですか。それはオーバートールと呼ばれる全解体を行うのメンテナンスも可能なお店である証拠です。ほんの30分ほどでわずか2坪ほどのスペースで手際よく自転車を解体しパーツごとに分けてしまう技術はおよそ40年間大好きな自転車に携わってきた永倉さんだ



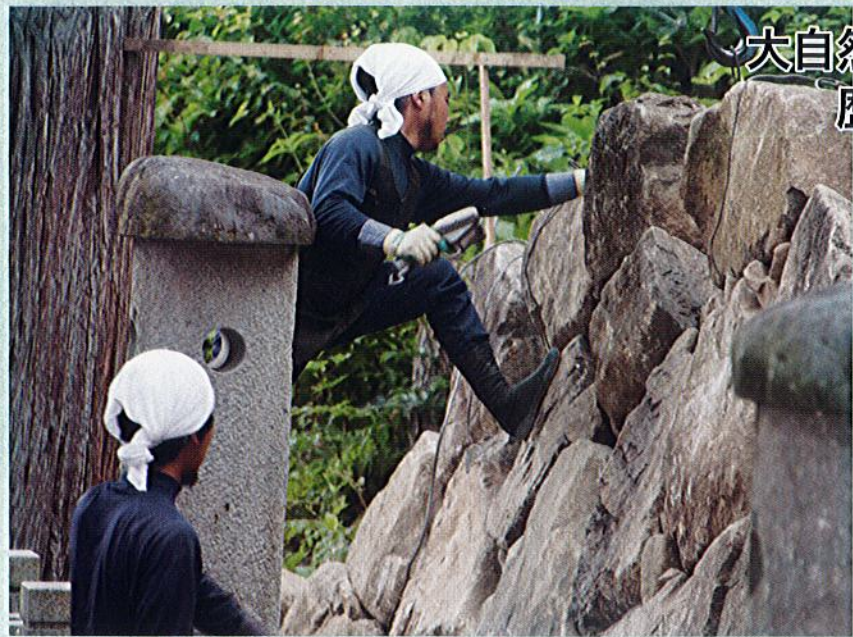
### 自転車専門店 ナガクラ

事業主/永倉 秋則  
☎0577-73-2470



古川町金森町 10-19  
 営業 9:00 ~ 20:00  
 休業 水曜日  
 自転車専門店  
<http://www.e-jitensya.com/>

からこそ。自転車競技経験者もなるほどです。このオーバーホールの技術を活用して県内で唯一、永倉さんだからこそ施工できる自転車のクリスタルコーティングは塗装劣化を防ぎ、耐久性がアップすると好評です。「他店購入の自転車でも気軽に相談ください」という姿勢がお客様に安心を提供くださっています。



## 大自然を利用した「日本庭園」の歴史と伝統を守り続けたい

専門学校卒業後、富山・石川で北陸の伝統的な庭園管理技法の基本をみっちり叩き込まれ、腕を磨いてきた植賢の林賢司さんは、26才の時に生まれ育った古川町へ帰郷し独立開業しました。「日本古来の文化である日本庭園は、世界でもまれに見る大自然を使った芸術作品ではないでしょうか」と語る植賢さんは、良質で確かな素材を吟味し、歴史と伝統を重んじた深みのある作庭を得意としています。既に地

元飛騨市のほか富山市や京都市での施工事例が多数あり、依頼があれば全国何処でも直ぐに飛んで行くそうです。庭に関わる人たちの交流も全国に数多くあり、良い仕事をする上で人の繋がりも大切にしています。故郷をこよなく愛し、庭園づくりを通して地域を活性化させたいと言う植賢さんは、若者による新しい感覚の新事業を模索しています。乞うご期待を！



植賢  
代表/林 賢司  
0577-73-7728



住 古川町是重 218-2  
営 8:00 ~ 17:00  
休 年中無休  
業 造園業  
http://www.niwauken.com

## こころとからだの元気所！

明るく落ち着いた空間に、ピンと張った白いシートが清潔感を感じさせる渡辺富士夫長生治療院。もともとおかず屋を営業としていたのが、41歳にしてまったく想像もしない分野に転身！きっかけは当時スキーで転倒し左肩をけがした際に、有能な先生に診てもらったことができ無事に回復しました。その時の感謝の気持ちを何かで恩返ししたいという強い思いが渡辺さんを動かしました。家族を奥様にまかせ、単身東京の専門学校へ入学し、猛勉強のすえ3年後に国家試験にみごと合格し資格を取得。修業後は東京で開業していましたが17年前に古川に治療院を開き現在に至ります。『一期



渡辺富士夫長生治療院  
事業主/渡辺 富士夫  
0577-73-0503

住 古川町貴船町 6-15  
営 8:00 ~ 19:00  
休 木・日曜日  
業 あん摩、  
マッサージ、指圧

「一会」を信条に渡辺さんが常に思うのは、患者さんには健康で元気でいてほしいという願い。それが形となったものが『院長のよもやま話』。手書きの院誌には健康に役立つ情報をもちろん、神社めぐりやうなずけるシルバー川柳などの記事を満載し、みなさまに愛読され55号まで続いていきます。そして更なる健康を追求したどり着いたのが『パワースポットめぐり』の旅。大地のエネルギーを感じ元気に、なれると毎回大好評です。より健康になるための知恵と努力を惜しまない渡辺さん。心も体も元気にしてくれる治療院に行ってみたくありませんか。



## 数河の元気をドライブインから発信していきたい

ドライブイン数河は昭和45年に山村佐藤兵衛氏により開業され、シンボリックな合掌造りの建物は利賀村から移築されたものだそうです。かつて主要道路沿いのドライブインはとも賑わいがありませんが、今ではほとんど見かけることが少なくなっている中、あえて「ドライブイン」として営業を続けていくことにこだわられています。これは年配の方が昔を懐かしんで訪れて頂けることを期待してのことです。また、2年前にリニューアル

された店内は、落ち着いた雰囲気の中で食事を楽しんで頂くための思いを形にしたもので、食事は手軽にいただくものを取りそろえる一方、飛騨牛、飛騨地鶏など地元食材を使ったメニューは手作りにこだわっています。数河地区でも世帯減少・高齢化が進んでいます。社長はイベントに頼らない魅力発信で数河の元気をドライブインから発信していきたい、と意気込んでみえます。



株式会社 佐藤兵衛商事  
代表取締役/山村 悟史  
0577-75-2311



住 古川町数河 863  
営 8:00 ~ 18:00  
休 無休  
業 飲食店・販売店



## 「おいしいお惣菜あれこれ」まごころを込めてお届けします!!

昭和45年10月に店主のお母さんの久恵さんが結婚を機に「山本おかずや」として開業。今年から息子さんの正人さんに代替わりされ、より一層スーパーにはできないサービスを目指し日々奮闘中です。お店の中は、美味しそうな惣菜がいっぱい。あれもこれも食べたくなる品ばかり。「この惣菜、おいしいんや」と、他とは違うんやさな〜!!と買い求めるお客様が次から次へと来店。商品はセルフサービス

スで欲しい分だけ取りわけての量り売りです。お客様との会話の中から好みや量を把握、希望があれば配達もOK!! 出来るだけお客様の要望に応えたいとおっしゃる久恵さん。現在、調理は正人さん、販売は久恵さんの二人のコンビで頑張ってみえます。今日も出来るだけ多くの品をこだわりをもってまごころ込めて提供しておりますとお話し下さいました。



山本おかずや  
店主/山本 正人  
0577-73-3688

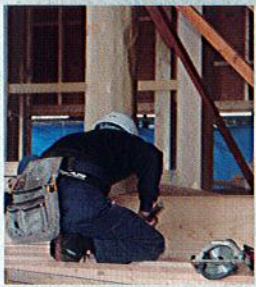
住 古川町貳之町 11-34  
営 9:00 ~ 20:00  
休 日曜日  
業 惣菜小売



## お客様の笑顔は私たちの「宝」です

工務店が、お客様にとって良い家を建てるのは当たり前のこと。家を造って売ることよりも、人売ることに意味があると思っ  
ています。これをあえて言葉で説明するとしたら、お客様が心底感動して下さるような「やっぱり、これはいい」と何かを感じて貰えるような仕事をしたいと・・・それは、造り手一人一人が魂を込めて仕事をする事が大切で、丸茂はそのプロ集団だと自負しています。そして、社員全員が自分の家を建てるような気持ちでお客様の家造りに情熱

諏訪神社施工中 (杉鷲字岡構地内)



### 株式会社 丸茂

代表取締役 / 斎藤 繁  
☎0577-74-2065 (会社)



☎0577-73-2745 (社長宅)  
住 古川町太江 3092  
8:00 ~ 17:30  
営業 住宅設計施工管理、  
神社仏閣施工管理、  
土地・中古住宅売買  
免許 建設業許可(特22)  
一級建築士、宅地建物取引



を注いでいます。そんなスタッフたちの先頭に立つ社長さんは木が大好きで、東濃、木曾、伊勢などの方々を見て回り、良い木を見つけると直ぐに買ってしまふのだとか。数件の家を造れる程の在庫がある倉庫はまるで木の展示館で、お金がかかるがお客様さまに見せて良い木だと褒められるのが嬉しいと満面の笑顔。近年では神社の建て替えも数多くの実績があり、今現在、杉鷲地内で諏訪神社の建て替えを実施中とのこと。

## 自動車整備のプロに愛される 钣金塗装専門店

昭和45年、東京オリンピック後  
のモーターゼーションの波が飛  
騨にも押し寄せてきた頃、古川  
町内で初めての自動車钣金専門  
店として誕生しました。現在は  
钣金部門を父と弟、塗装部門を  
社長が担当し、流れ作業で効率  
的に仕上げていくことで早く丁寧  
な仕事を確立しています。塗  
装の剥げたところを修繕する際  
は実は1回1回色を混ぜてベス  
トなものをつくり、塗装しなお  
しているんです！色を識別し修



繕する機械もありますが、人の  
目や手には到底及びません。色  
を扱う様々な業種の中で自動車  
塗装業者が一番色彩能力が高い  
と言われている所以はここにあ  
ります。元の色を目で見て認識  
判断し、混ぜ合わせる色の微妙  
な量で元の色と同じ色を作り上  
げているのです。それは熟練の  
技であり、日々の鍛錬から得た  
全部の色の特性という知識があ  
るからこそなせる業なのです。



### 古川自動車钣金有限公司

代表 / 木戸 勝  
☎0577-73-4811



住 古川町上町 582  
8:00 ~ 17:30  
営業 日曜と祝日  
業 自動車钣金塗装業  
http://www.facebook.com/  
fukurawabankin/

## 若い人が気軽に集まるお店

ギターの看板でおなじみのリトルビレッジJr.は、かつて営業していたリトルビレッジを息子さんの啓太さんが受け継ぐ形で、Jr.を冠して5年前に今の場所にオープン。その後洋介さんも加わって営業しています。若い人が気軽に集まるお店を作りた  
いとの思いから始められたそう  
で、豊富なドリンクメニューが揃  
えられ、フードメニューは比較  
的低料金となっています。また、  
女性店員がいなくてカラオ

ケがないのもこのお店の大きな  
特徴です。手作り感あふれる店  
内には自分たちで集めた思い入  
れのあるオブジェが飾られてい  
て、どこを見渡しても何かおも  
しろいものが入り会話をのネ  
タには事欠きませんが、なんと  
いってもイケメン親子マスター  
が一番の魅力です。若い人のグ  
ループのお客さんが多いですが、  
初めての方でも楽しく過ごすこ  
とが出来るお店です。



### リトルビレッジJr.

代表 / 川端 啓太  
☎0577-73-3682



住 古川町金森町 14-30  
営 木・金・土曜日  
20:00 ~ CLOSE  
業 飲食店



## 豊富なメニュー！！ 美味しさと満腹になれる満足なお店

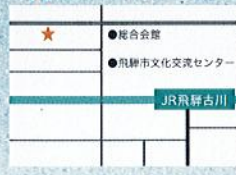
店主の松崎さん、当初は和食を  
目指し名のあるお店で修行され  
た事もあり、25年前この場所に  
和食天ぷら店としてオープンし  
ましたが、お店のスタイルが先  
取り過ぎたのかお客様の反応が  
思うようにならず、この地域の方  
達が本当に望んでいる「食」  
(お店)を原点から考え直そう  
と再起、洋食屋さんで修行しな  
がら営業を続けたそうです。  
このお話を聞いて、和・洋食の

メニューが豊富なのが納得でき  
ました。大勢で来店されても  
それぞれ好みのメニューがある  
のはこのお店の強みです。お店  
の営業時間外にもお弁当・出  
前・テイクアウトの注文をこな  
し、休憩も取れない様子。「お  
客様にお得で美味しいと思って  
頂けることをいつも心掛けて頑  
張っています」と松崎さん。この  
思いにリピーターが多いのだと感  
じました。



### キンコン館

代表 / 松崎 義長  
☎0577-73-4646



住 古川町若宮 2-2-9  
9:00 ~ 21:00  
営 月曜日  
休 飲食店



# あの時分

～昔々の古川の町～

貴重な資料から古川の昔を探る旅。  
さあ、あなたもあの時分へ  
タイムスリップしてみてください。



## “古川駅前風景”

↓現在の「駅前」



前髪ぱつんおかつぱ頭の女の子たち。ほんのりとお化粧をしてもらい普段とは違うきれいな着物を着て歩く姿は、昭和33年頃の天神祭りの様子。タンバリンを手にした女の子たちの意気揚々とリズムよく叩いている音が聞こえてきそうです。当時は町内ごと山車を作り、競つ

たように町を練り歩いたそう。現在の県道にあたるこの道路沿いには、今とはずいぶん違う業種のお店が軒を連ねていたようです。古川駅前の商店通りということもあって住民の生活を支えるだけでなく、車で訪れる多くの人たちも利用していたんでしょうね。

## 編集後記 ～ぐるっとスタッフのつぶやき～

湯峰ソーイング(株)の沿革はもっと詳しく書きたかったなあ。また、社長さんの日本人のルーツの話も書きたいくらいに、非常に面白くて興味を引くお話でした。とにかく泥縄式的な発想と行動力に驚かされた取材でした。社長さんありがとうございました。(レッド)

古川町に来て10数年になりますが、知らないところがまだまだいっぱいあります。今回は現場取材ということで岡前の神社と下野の神社を訪れました。山中の静かな場所で働く人たちが羨ましく、その風景を見ていると何故か心が落ち着きました。(ブラック)

永倉さんと木戸脇さん・・・乗り物繋がり。両方とも日々進化を続ける分野。でもやっぱり職人さんの手と目がそれらを使う生活をより豊かにしてるんやな～。オイルや塗料で汚れた手が職人さんの熱意みたいに思えます。(グリーン)

リトビさんは取材当日も20～30代のお客さんと賑わっていて、親子で仲良く仕事されていました。そんな中、マスターと共通の知り合いの話題になりタイムング良く当人が来店されたのには驚きました。(ブルー)

どのお惣菜も美味しくそうな品ばかりでもあれもこれも食べたくまりました。働く主婦にとっては強い味方、かけがえないお店ですよ。美味しい食のこだわりとお客様との信頼関係が気持ちをホッとさせてくれ、昔の母を思い出しました。(イエロー)

メルヘン風に飾られたお店の外装や店内のお花などの装飾は、美容師の奥様がお客様のために飾ってみるとか。ご夫婦それぞれにお店を運営されながらも「お客様の笑顔がご褒美」と頑張ってみる姿がステキです。(パープル)

大変お忙しいなか休憩時間を削って取材に応じてくれた渡辺治療院さん。短時間の取材ということもあって、あらかじめ「自分史」を書いて下さっていたところが相手を持っている証拠。先生のお顔と思いやりは患者さんの心もほぐしてくれます!(ホワイト)

ほんのわずかな情報だけでおじゃました私でしたが、不安や緊張はどこへやら、部品をみながら解り易くお話し下さいました。冷たいアルミに注ぎ込んでみえる熱い魂にふれる事ができ、とてもステキな時間でした。(ピンク)

## 狐の「おこんちゃん」お気に入り紹介! 美容と健康にいいみたい!

えごまはシソ科の一年草で日本で古くから栽培されてて、食用や燃料用の油などに使われている貴重な食品。飛騨でも、えごまはあえ物や五平餅など伝統食材としてなじみが深いんだ。この春、α-リノレン酸などを多く含む「飛系アルプス1号」が新品種として日本で初めて登録されました。そのえごまを使った「飛騨えごま油」をさくら物産館で販売し始めたらこれが大好評!みそ汁やサラダなどに一振り加えるだけで爽やかな風味が楽しめるし、毎日の健康と美容にもいいらしいよ。おこんも毎日食べてみよ～。【株式会社アルプス商会】



飛騨古川さくら物産館



Free Spot 設置店  
あんきに寄ってな～♪

住: 古川町三之町 2-20 真宗寺様向い  
電: 0577-73-7770  
FAX: 0577-73-7771  
営: 9:00 ~ 16:30 休: 木曜日

今年も開催決定!!  
8/29(金), 30(土)  
チケット発売日 8/4(月)～

